

	・相手にかかわりのある物について聞く場合 ・国名を使った語彙	おたくは どちらですか。 会社、オフィス、学校、大学、キャンパス 日本料理、日本語など	おたくは どちらですか。 COUNTRYです/CITYです ここ・そこ・あそこ・どこ どちら COUNTRY料理(W01+フランス、イタリア *中華料理) COUNTRY語(+ドイツ *英語)
W03-1 た・タ行	物について 所有物について 家族の名前や仕事に	これ・それ:本、新聞、時計、ペン あれ:ドア、エアコン、電気 など 私の本 田中さんの時計 先生のペン 誰のNOUNですか？ 私の 田中さんの 先生の 誰のですか。 (どなたのですか。) 家族の語彙(父/おとうさん/おとうさま、母兄弟姉妹、主人/ご主人、家内、息子、娘 上の~/下の~/真ん中の~	これは Nですか？ はい、Nです/いいえ、Nではありません これ・それ・あれ → これは なんですか？/(それは)Nです NOUNの NOUN NOUNの FAMILYの お名前は？、etc. 国、仕事 FAMILYの おたくは どちらですか？ (COUNTRYの NAMEという ところです) ~の~の~です
W03-2	電話番号 二桁の数字が読める 年齢 SETC(1~4) 作文課題:家族について	お電話番号は？ : SETA + の もう一度お願いします。もう一度ゆっくりお願いします。 いくつですか。 ~月、~時(1から12まで、言うだけ) おいくつですか。 [二桁の数字]です *20=はたち ひとつ・ふたつ・みっつ・よっつ 読み物:家族の写真を説明する	SET A + じゅう(+SET A)
W04 な・ナ行	三桁の数字 値段 四桁の数字 大きい数字 買い物 注文(1) 1つ頼む その後注文を 先 注文ができる(2) 2種類、3種類のものを頼む 注文ができる(3) 数を入れて頼む ⇒代表で全員のもの注文する) 作文課題/読み物テーマ:私の 家族	いくらですか。 ~円です (ちょう)おく、まん あのう すみません、お願いします。 これ/それ/あれ・を みせてください このN/そのN/あのNを みせてください N=時計、カメラ、ネクタイなど いいですか。 いくらですか。 これ/それ/あれ・を ください すみません、ありがとう。(買わない場合) あのう すみません、お願いします。 メニューを みせてください。 ~を ください コーヒー、紅茶、コーラ、ケーキ、サンドイッチ、アイスクリーム	SET A + ひゃく *3mB, 6pP, 8pP 三桁の数字+二桁の数字 SET A + えん *4=よ SET A + せん *3Z, 8s 四桁の数字+三桁の数字 五桁~十桁の数字 Nを:対象を表すときは「を」を使う このN/そのN/あのN NOUNとNOUN それから 数量には助詞が要らない を、ください e.g. ~を SETC ください e.g. ~を SET Cと ~を SET C ください それから ~を SET C ください
SECTION 2 動詞文が作れる・動詞文を使って質問できる・質問に答えられる 目標:日常生活について話せる、旅行について話せる、願望について話せる、タクシーに乗れる			
W05 は・ハ行	日常生活について質問できる・ 答えられる	食べます、飲みます、見ます、買います、します、行きます 対象情報を追加する (お)すし・パン・ピザ、コーヒー・紅茶・お茶、映画・テレビ・写真、セーター・ネクタイ・プレゼント スポーツ、料理、勉強、旅行、仕事	Vますか？ はい、Vます/いいえ、Vません Nを Vます → Nを Vますか？ 1. はい、Vます/いいえ、Vません 2. はい、Nを Vます/いいえ、NIは Vません → なにをVますか？ まず、まずか、ませ ん を、は、なにを

	<p>時の情報を追加する 朝、昼、夜、毎朝、毎日、毎晩</p> <p>時と対象情報を同時に追加する</p>	<p>移動の到着点情報を追加する</p> <p>時の情報を追加する 今日、あした、あさって、今晚 → あしたの朝、etc.</p> <p>時と移動の到着点情報を同時に追加する W05以降、買い物などについて書き、例えば本をひとつとセーターをひとつ のようにW04の学習事項を応用してきた場合は、教え方を指導する(助数詞のまとめはNOVICE 19で行う) 使う動詞: 食べます、飲みます、見ます、買います、します、行きます</p>	<p>TIME Vます → TIME Vますか? 1. はい、Vます/いいえ、Vません 2. はい、TIME Vます/いいえ、TIMEは Vません → いつVますか? TIME Nを Vますか? 1. はい、Vます/いいえ、Vません 2. はい、Nを Vます/いいえ、Nは Vません 3. はい、TIME Vます/いいえ、TIMEは Vません</p> <p>PLACEに いきます → PLACEに いきますか? に、には、どこに 1. はい、いきます。/いいえ、いきません。 2. はい、PLACEに いきます/いいえ、PLACEには いきません → どこに いきますか。</p> <p>TIME いそより → TIME いそよりか? 1. はい、いきます/いいえ、いきません 2. はい、TIME いきます/いいえ、TIMEは いきません 、いつ、いきますか?</p> <p>e.g. 本など: SETA+さつ * 1s, 8s, 10s e.g. 薄く平たい物: SET A + まい *3m, 4m, ?m</p>	いつ
(W5-2)	<p>未来について質問できる・答えられる</p> <p>新しい情報の追加</p> <p>作文課題/読み物: 私と家族の日常生活</p>	<p>移動の到着点情報を追加する</p> <p>時の情報を追加する 今日、あした、あさって、今晚 → あしたの朝、etc.</p> <p>時と移動の到着点情報を同時に追加する W05以降、買い物などについて書き、例えば本をひとつとセーターをひとつ のようにW04の学習事項を応用してきた場合は、教え方を指導する(助数詞のまとめはNOVICE 19で行う) 使う動詞: 食べます、飲みます、見ます、買います、します、行きます</p>	<p>PLACEに いきます → PLACEに いきますか? に、には、どこに 1. はい、いきます。/いいえ、いきません。 2. はい、PLACEに いきます/いいえ、PLACEには いきません → どこに いきますか。</p> <p>TIME いそより → TIME いそよりか? 1. はい、いきます/いいえ、いきません 2. はい、TIME いきます/いいえ、TIMEは いきません 、いつ、いきますか?</p> <p>e.g. 本など: SETA+さつ * 1s, 8s, 10s e.g. 薄く平たい物: SET A + まい *3m, 4m, ?m</p>	いつ
W06 ま・マ行	<p>新しい情報の追加</p> <p>作文課題/読み物 (e.g. 先週末)にしたこと</p>	<p>行為を行う場所の情報を追加する うち、ホテル、映画館、など</p> <p>行為をともにする人の情報を追加する 田中さん、木村さん、など</p>	<p>PLACEで Vます → PLACEで Vますか? で、では、どこで はい、PLACEで Vます /いいえ、PLACEでは Vません → どこで Vますか? PERSONと Vます → PERSONと Vますか? と、とは、だれと はい、PERSONと Vます /いいえ、PERSONとは Vません → だれと Vますか?</p>	で、では、どこで と、とは、だれと
(W06-2)	<p>過去の行為について質問できる、答えられる</p> <p>新しい情報の追加</p> <p>作文課題/読み物 (e.g. 先週末)にしたこと</p>	<p>食べます、飲みます、見ます、買います、します、行きます N: + α します+買い物、旅行、食事 以下「Vました」を使って復習 対象情報を追加する 時の情報を追加する きのう、おととい、今朝 → きのうの晩、etc. 時と対象を同時に追加する 移動の到着点を追加する</p>	<p>Vます → Vました → Vましたか? はい、Vました/いいえ、Vませんでした</p> <p>TIME Nを Vました PLACEに いきました</p>	
W07 や・ヤ行、わ ワ、を、ん	<p>願望を述べられる</p> <p>作文課題/読み物 (e.g. 先週末)にしたこと</p>	<p>(動詞文の語順の説明): 作文のできによって</p> <p>食べます、飲みます、見ます、買います、します、行きます 対象情報を追加する します+e.g. テニス、サッカー、食事、散歩</p> <p>時(1)の情報を追加する(復習): きょう、あした、あさって 移動の到着点の情報を追加する(復習): デパート、海、山</p> <p>時(2)の情報を追加する: ~月(~時、~曜日)</p> <p>行為をともにする人の情報を追加する(復習) 家族・ご家族、友達、*一人で</p>	<p>TIME PLACEで/PERSONと NOUNを Vます Vます → Vたいです → Vたいですか? はい、Vたいです/いいえ、Vたくありません Nが Vたいです → Nが Vたいですか? はい、Vたいです/いいえ、Vたくありません → なにが Vたいですか?</p> <p>TIMEに Vたいです → TIMEに Vたいですか? はい、TIMEに Vたいです /いいえ、TIMEには Vたくありません → いつ/何月に Vたいですか?</p>	たいです、たいですか、たくありませんが、は、なにが

	名詞を情報化するPARTICLE(格助詞)⇒HEADLINE情報(～は)のメカニズムをまとめる	を／が:「は」に変える それ以外(で／と／に／×):「は」をつける
(W07-2)	名詞を情報化するPARTICLE(格助詞)⇒ALSO情報(～も)のメカニズム “also”のニュアンスを加えられる 動詞文における「も」の使い方	を／が:「も」に変える それ以外(で／と／に／×):「も」をつける 何がVたいですか? / NがVたいです / NもVたいです も、にも、でも、ともす TIME / TIMEも、PLACEに / PLACEにも、 TIMEに / TIMEにも、PLACEで / PLACEでも PERSONと / PERSONとも 何がVたいですか? / NもVたいですか? Vたいんですが…
	情報提供を依頼できる 婉曲な願望の使い方 許可を求められる 相手に行動を依頼できる 動詞を使わずに依頼する 電気、ドア、ミルク、など ドライバーに指示を出せる 行先を言う、道順の指示を出す、止めてもらう 角、次の角、右、左、まっすぐ	Nを おねがいます PLACEまで / 次の角を 右 / 左に / まっすぐ / ここで +おねがいます
	作文課題: 読み物テーマ 休暇 をもらったらしたいこと	

SECTION 3 形容詞文が作れる・形容詞文を使って質問できる・質問に答えられる 目標: 物や人について話せる、体調について話せる、好き嫌いについて話せる、旅行について話せる

W08 ら・ラ行	イ形容詞文を使って質問できる、答えられる 名詞を修飾できる(1) 名詞を修飾して文を拡張できる(1) ナ形容詞文を使って質問できる、答えられる 名詞を修飾できる(2) 名詞を修飾して文を拡張できる(2) 名詞を単語で修飾する	イ形容詞文の現在・未来の文末変化 高い、安い、おいしい、まずい、熱い、冷たい、暑い、寒い イ形容詞で名詞を修飾する イ形容詞で名詞を修飾して文を拡張する ナ形容詞文の文末変化 すてき、きれい *ナ形容詞は活用しないと考える ナ形容詞で名詞を修飾する ナ形容詞で名詞を修飾して文を拡張する *「な」をPARTICLE(助詞)と考える まとめ	イADJ[い]です → イADJ[い]ですか? くありません はい、イADJ[い]です / いいえ、イADJ[く]ありません イADJ・NOUN NOUNです → イADJ・NOUNです NOUNを Vます → イADJ・NOUNを Vます NOUNが Vたいです → イADJ・NOUNが Vたいです NOUNです と同じ ナADJな・NOUN ～は ナADJな・NOUNです ナADJな・NOUNを Vます ナADJな・NOUNが Vたいです NOUNの NOUN イADJ NOUN ナADJな NOUN PERSONはどんな人ですか? ADJ(な)人です FAMILYは どの方ですか? ADJ(な)人です / ADJです いかがですか? (とても)ADJです ～ね はい、～ / いいえ、～、 ～ね そうですね ～(よ) そうですね(I didn't know.) そうですね(I already know.)
	人や物について質問したり、答えたりできる 食べ物や飲み物について感想を聞いたり答えたりできる 確認したり、新しい話題や、会話のきっかけを作ることができる あいづちをうつことができる	友人について 人を形容するイ形容詞(やさしい、あかるい、など)、ナ形容詞(がんこ、しんせつなど) 家族について 感想を聞く おいしい、まずい、あまい、からい、など とても 確認 自分の感想への同調を求めたり、何かの出来事や感想を述べたりする それに対して応えられる	
	作文課題 / 読み物テーマ: 家族について		

W09 が・ガ行	痛みを訴えることができる 体の状態を述べる いい・悪い	痛い 頭、のど、歯、おなか、腰 いい・悪い 目、耳、頭	(わたしは) [体の部分]が いたいです → ～が いたいですか? はい、いたいです / いいえ、～は いたくありません → どこが いたいですか? いいです → いいですか? はい、いいです / *いいえ、よくありません(例外)
-------------	-----------------------------------	--------------------------------------	--

	<p>好き嫌いについて述べる事ができる</p> <p>好きな／嫌いなもの・ことについて質問できる、答えられる</p> <p>選択肢の中から選ぶことができる</p> <p>目の前にないものから選ぶことができる</p> <p>自分の一番の選択肢について述べる事ができる</p> <p>相手にどうしても同調できないときに対処できる</p> <p>作文課題／読み物のテーマ：自分や家族の好きなこと嫌いなこと</p>	<p>好き・とても 好き・大好き 嫌い・とても きらい・大嫌い</p> <p>好きなものについて</p> <p>嫌いなものについて</p> <p>3つ以上の物から選ぶ</p> <p>2つの物から選ぶ</p> <p>3つ以上の同じ種類の物から選ぶ</p> <p>ソファ、ポット、ネクタイなど いちばん</p> <p>e.g 誕生日のプレゼント</p> <p>ボーイフレンド／ガールフレンド</p> <p>e.g.かえるはかわいいですね・・・そうですか？</p>	<p>PERSONは Nが すきです</p> <p>Nが すきです →とても すきです →だいすきです</p> <p>Nが すきですか？</p> <p>はい、すきです／いいえ、～は すきではありません</p> <p>Nが きらいです→とてもきらいです → だいきらい</p> <p>どれが好きですか？／これが すきです</p> <p>どちらが好きですか？／こちらが すきです</p> <p>どのNOUNが 一番 すきですか？／このNが一番～</p> <p>私は～/私も～</p> <p>どんなN(集合)が すきですか？</p> <p>ADJ(な)N(集合) がすきです／N(普通)がすきです</p> <p>何が いいですか？ N(普通)がいいです</p> <p>どんな人がいいですか？ ADJ(な)人がいいです</p> <p>そうですか。(疑問。同意・同調できかねる)</p>
<p>W10</p> <p>ざ・ザ行</p> <p>だ・で・ど</p>	<p>形容詞文の基本文型</p> <p>物や人についてコメントできる</p> <p>ナ形容詞文(過去)</p> <p>過去の出来事について感想や印象を聞いたり・答えたりできる</p> <p>(1)</p> <p>イ形容詞文(過去)</p> <p>過去の出来事について感想や印象を聞いたり・答えたりできる</p> <p>(2)</p> <p>取り立ての「は」を使いこなせる</p> <p>過去の出来事について感想や印象を聞いたり・答えたりできる</p> <p>(3)</p> <p>名詞文(過去)</p> <p>作文課題／読み物のテーマ：旅</p>	<p>形容詞文には SUBJECT情報またはOBJECT情報を追加できる</p> <p>SUBJECT情報が2つついている場合、全体を表すSUBJECT 情報は「～は」、部分または属性を表すSUBJECT情報は「～が」で表す</p> <p>髪／足／手・が長い／短い、足／手・が大きい／小さい</p> <p>背が 高い／低い、 頭が いい／悪い、 性格が いい／悪い</p> <p>デザイン、色、形、もよう すてき、きれい、すばらしい、いい、悪い、変、ユニーク</p> <p>ナ形容詞文過去の文末変化</p> <p>きれい、すてき、しずか、にぎやか とても、あまり</p> <p>イ形容詞文過去の文末変化</p> <p>暑い、寒い、おいしい、まずい、いい、たのしい、おもしろい とても／あまり／すこし</p> <p>T:～は いかがでしたか？ e.g. たのしい・とても /S:とても たのしかったです</p> <p>T:～は いかがでしたか？ e.g. さむい・すこし/S:すこし さむかったです</p> <p>e.g. きこのう 映画を 見ました。 ⇒映画は いかがでしたか？</p> <p>既出のイADJ、ナADJ、既出の副詞(とても、少し、あまり)</p> <p>T:陳述 S:～は いかがでしたか？ T:e.g. ナADJでした でも あまり イADJ[く]ありませんでした</p> <p>た</p> <p>ナ形容詞文と同じ 晴れ・曇り・雨</p>	<p>(NOUNは)(NOUNが) ADJです</p> <p>PERSONは ～が ADJです／～も ADJです</p> <p>PERSONも ～が ADJです</p> <p>この／その／あの・NOUNは (NOUNが) ADJですね</p> <p>ナADJです→ナADJでした→ナADJでしたか？</p> <p>はい、ナADJでした</p> <p>／いいえ、ナADJではありませんでした</p> <p>いかがですか。→いかがでしたか。</p> <p>(とても)ナADJでした</p> <p>／(あまり)ナADJではありませんでした</p> <p>イADJ[い]です → イADJ[かった]です</p> <p>→イADJ[かった]ですか？</p> <p>はい、イADJ[かった]です</p> <p>／いいえ、イADJ[く]ありませんでした</p> <p>いかがでしたか。</p> <p>(とても／少し)イADJ[かった]です</p> <p>／(あまり)イADJ[く]ありませんでした</p> <p>Nを Vました → NIは いかがでしたか？</p> <p>PLACEに きました → PLACEは いかがでしたか？</p> <p>どうでしたか。</p> <p>です、でした、ではありませんでした</p> <p>かったです、くありませんでした</p>
<p>WR</p>	<p>これまでの復習</p> <p>動詞の「DICTIONARY FORM」を「ますFORM」に変換でき、「Vます」、「Vたいです」という既習表現を使って会話ができる</p>	<p>復習 目標:動詞を3種類に分類し、「ますFORM」に変換、新しい他動詞を使って会話ができる</p> <p>辞書形の内容を教える</p> <p>これまで習ったものは「ます形」の応用表現</p>	<p>「Vます・Vたいです」のVの部分を「ます形」と呼ぶ</p> <p>「Vます・Vたいです」は「ます形」の応用表現</p>

動詞を分類することができる

動詞文の基本語順

「る」で終わる動詞には種類が3つあることを教える TYPE(a), TYPE(b), TYPE(c)
TYPE(c) 不規則動詞 する・くる

TYPE(b) [-いる], [-える]で終わる動詞

TYPE(a) [-ある], [-うる], [-おる]で終わる動詞+「る」で終わらない動詞+例外

使用する動詞:すべての種類を3つずつ(*「ぬ」で終わる動詞は「死ぬ」のみ)

最初に教える例外([-いる][-える]で終わるTYPE(a)の動詞):要る、入る、知る、走る、帰る、切る

それぞれの変換ルールを教えて変換練習をする(TYPE(c)はそのまま覚える)

動詞のタイプの見分け方を教える

⇒90%の精度でタイプを見分け、「ます形」に変換できるようになる

1. 修飾語は修飾される語の前にくる

2. HEADLINE情報(～は)は文頭にくる

3. TIME情報は文頭またはHEADLINE情報の次にくる

4. 動詞にとつてのTOPIC情報は動詞のすぐ前にくる

SUBJECT情報:動詞にとつてTOPIC情報出ない場合はHEADLINE情報(～は)になるが会話の流れ

のなかでTOPIC情報(話者が伝えたい情報・知りたい情報)になると「が」に変化する

*知っていますか?・はい、知っています/いいえ、知りません

PERSONは Nを Vます/PLACEに いきます
PERSONが?/いいえ、PERSONは～
⇒誰が?/PERSONが

作文課題/読み物テーマ:旅行

Achievement Test

筆記テスト(1時間)

:助詞の穴埋め、与えられた動詞、形容詞を使って穴埋め文の文末を完成させる

与えられた動詞(未習を含む)のタイプを識別し、「ますFORM」に変換させる

作文

インタビューテスト:可能なチェック項目

自力で相手から語彙を調達することができる

基本の挨拶ができる

自己紹介ができる

相手の名前や国、仕事を聞くことができる...質問に答えることができる

年齢、電話番号を聞くことができる...質問に答えることができる

友達を紹介することができる

探しているものの場所、行きたい場所を聞くことができる

所有について話すことができる...持ち主を探すことができる

大きな数字を読むことができる

お金を数えることができる

喫茶店で注文することができる

お店で買い物をするすることができる

日常生活について話すことができる...質問することができる

過去のできごとについて話すことができる...質問することができる

願望について述べる...質問することができる

何かしたいときに必要な情報を会話の相手から調達することができる(あのう Vたいんですが...)

タクシーに乗れる/車に乗せてもらったときに行きたい場所に連れていってもらえる

相手に何かしてくれるよう頼むことができる(～を お願いします)

食べ物や、見ている物などについて感想を述べる...感想を聞くことができる

相手の物や一緒に見ている物などについてコメントすることができる

情報や相手の気持ちを確認することができる(～ね)

新しい情報を提供することができる(～よ)

/提供された情報が自分にとって新しいものかどうか伝えることができる(そうですか/そうですね)

痛みを訴えることができる

好き嫌いについて話すことができる...質問できる

旅行について話せる(誰といつどこに行き、そこで何をしたか、どんな印象を持ったか)...質問できる

る

質問が聞き取れなかったり、予想外の質問をされたとき、質問を確認したり、もう一度質問してくれる

よう頼むことができる

文法的な間違いを指摘される前に自己修正できる/修正の必要性を指摘されると自己修正できる

注文や買い物などで、相手の間違いを正すことができる